

公益社団法人 上伊那教育会
総研修会「仰望の日」

期日：令和8年5月20日（水） 会場：長野県伊那文化会館

【 開会・全員合唱 上伊那教育会の歌「仰望」 】



【 佐々木 英明 上伊那教育会長 挨拶 】

皆様 おはようございます。木々のやわらかな緑が、日に日に濃さを増し、野山にはカッコウの声が響く季節となりました。本日は、上伊那教育会 総研修会「仰望の日」に、多くの皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、ここに ご列席いただいております、信濃教育会様はじめ、ご来賓の皆様には、日頃より上伊那教育会に対して、温かなご理解ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

上伊那教育会は、明治十二年の創立以来、「はじめに子どもありき」「限りなき土着性の追求」「たゆまぬ教師の研鑽」という三つの理念のもと、職能研修団体として、会員一人一人が主体的に学び、教師としての力量を高めていくことを大切にしながら、歩んでまいりました。

将来が予測困難な時代の中で、子どもたちを取り巻く状況も、学校に求められる役割も、大きく変化しています。教育課題はますます多様化・複雑化し、私たち教師一人で抱え込むことが難しい時代となりました。だからこそ、仲間と共に学び合い、支え合うことが、これまで以上に求められているのではないのでしょうか。

そこで本年度のテーマを、「つなぐ つながる 私たちの学び ～子どものために 仲間と歩む～」といたしました。「この研修はきっと役に立つよ」「一緒に参加しませんか」、そんな仲間からの声かけが、学びへの一歩を支え、会員同士のつながりを育てていきます。

永年大切にしてきた「三大研修」は、すぐに答えをえるための学びではありません。しかし、忙しい日々の中で立ち止まり、自らの子ども観や授業観を問い直す時間こそ、教師としての土台を耕し、子どもを見るまなざしを 深める学びになるのだと思います。

教育会の事業を通して、校種や立場、経験年数を越えて一緒に学び、語り合うことで築かれたつながりが、日々の教育実践を支える力となり、上伊那全体の教育力向上へとつながっていくことを願っています。子どもたちのために、会員の皆様と共に歩んでまいりたいと思います。

それでは、このあとの講演会の講師、舞の海秀平さんをご紹介します。



舞の海さんは、大学卒業後、高校教師に内定されていましたが、子どもの頃からの夢を叶えようと、周囲の反対を押し切って出羽の海部屋に入門、角界最小の身体ながら、技能賞を5回受賞、ファンを驚かせる数々の技を繰り出し「技のデパート」の異名をとられました。現在は、NHK大相撲解説者を務めるほか、テレビ・雑誌・講演会などで幅広くご活躍中です。本日は「小よく大を制す」と題しましてご講演いただきます。私たち教育に携わる者にとっても、多くの示唆をいただける時間になることと思います。

最後になりますが、午後には専門性を磨く教科等教育研究会も予定されています。本日の学びが、明日からの教育実践に生き、上伊那の子どもたちの育ちへとつながっていくことを願っております。また、本日の研修を支えてくださっている代議員、役員の皆様、全ての会員の皆様に感謝申し上げます、挨拶いたします。

【 土屋 次男 信濃教育会 事務局次長 来賓祝辞 】

おはようございます。ただいまご紹介にあずかりました信濃教育会の土屋でございます。本来であれば、大日方貞一会長が、直接お祝いと感謝を申し上げるべきところでございますが、本日は所用により出席が叶わないため、代理として一言ご挨拶を申し上げます。

ここに上伊那教育会総研修会が盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。また、日頃より信濃教育会の諸事業に対し、多大なるご支援と温かいご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

私事ではありますが、これまでに上伊那の教育から多くを学んでまいりました。平成3年の信州理科教育研究会の上伊那大会では、飯島小学校で、タラの胃袋を解剖して食べたものを調べる授業、飯島中学校で、ブタの肺を膨らませて肺のつくりを調べる授業が公開されました。教師になってまだ数年だった私は、ダイナミックな教材化と子どもたちの探究する姿に衝撃を受けました。平成15年、南箕輪中学校の自作カメラを教材化した光の性質を探究する授業も鮮烈に記憶に残っています。最近では、伊那市中学生キャリアフェスを視察させていただき、自校のキャリア教育に活かすことができました。このように、たゆまぬ教師の自己研鑽と先進の気風にあふれた上伊那の教育は、その後の教員人生の大きな財産となりました。本日、再びこの地で学ばせていただくことは、この上ない喜びであります。

さて、「信濃教育会」は、本年度、創設140年という大きな節目を迎えました。そこで、いくつかの特別な事業を予定しております。一つは、生涯学習講座「県歌『信濃の国』を訪ねて」の開設です。歌詞に登場する地域や偉人の功績を、現地見学を通して学びます。次に、書籍『信州の教師 基礎・基本』を刊行いたします。この書籍には、子どもたちに真正面から向き合い、悩み、苦しみながら実践を重ねてきた先輩教師たちの歩みが綴られています。皆様が日々の実践の中で立ち止まったとき、これからの教育を見つめ直す指針として、ぜひ本書を手にとっていただければ幸いです。

そして8月には、第140回記念信濃教育会総集会を、日本連合教育会研究大会と兼ねて長野市で開催いたします。この大会の主題は、「悠久の山河の如く 新たな時代を力強く切り拓く 日本人の育成」といたしました。信州の山河のように、力強く、そしてしなやかに自らの人生を切り拓いてほしい、

そんな願いを、この主題に込めております。

「人は人によって育てられる」、「人は人を浴びて育つ」と言われます。

子どもたちが教師という存在にふれて成長していくように、私たち教師もまた、良き先輩や同僚に教えられ、導かれ、一人前の教師になっていきます。ぜひ、上伊那教育会や信濃教育会の様々な研修の場で、志を同じくする仲間と出会い、語り合い、教師としての力を蓄えていただくことを願っております。

結びに、上伊那教育会の益々のご発展と、本日ご列席の皆様方のご健勝、そして明日からの教育実践がより豊かなものとなりますことを心よりご祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



【 会員発表『上伊那におけるバツタ科の生息状況について』 】

郷土研究部 専門委員会 動物班
南箕輪小学校 小池 尚美 会員



参会者の感想

- 「探究的な学び」の大切さ、とされていますが、教師こそが自らの生活の中に「探究的な取り組み」ができることが必要と感じます。発表者の先生にエネルギーをもらった気がします。
- 会員の先生方が主体的に探求されている姿に、刺激をいただきました。また、自ら興味関心のあることを分かりやすくまとめたものを、子どもたちに紹介し、楽しさを伝えることにも役立てられると思いました。
- 今まで興味がなかったバツタについて、興味をもつことができたとともに、食い入るように見たくなるような発表でした。中学生が、自分の研究を進める上で大変参考になると思いました。先生の研究に対する楽しさが伝わってきました。この後の研究がどのように進んでいくのか楽しみです。

【会員合唱】

- ☆上伊那教育会合唱団による合唱
『新しい世界へ』『ほらね、』
- ☆全員合唱『信濃の国』



参会者の感想

- 短い期間での練習だと思いますが、あれほどの素敵な合唱に仕上がっていて、感動です。
- 「ほらね、」を聞きながら、涙が出てきました。歌は人の心を動かす大きな力があると感じました。
- 声を合わせることで生まれる一体感や温かさがあり、ホール全体も優しい雰囲気に包まれていたと思います。選曲も良かったです。
- 毎年素晴らしい演奏をありがとうございます。上伊那の先生たち全員で信濃の国と一緒に歌えたこともいい経験になりました。

NHK 大相撲解説者

舞の海 秀平 さん

【講演】「小よく大を制す」



参会者の感想

- 舞の海さんのお話はとてもおもしろく、楽しくあっという間の1時間半でした。おもしろい中にも、教育に生かせるヒントもいただけて、視野を広げることができました。
- 何度も笑い、その中にもメッセージがこめられていて、すごくよかったです。悩まず元気に人生を輝かせたいと思う内容でした。
- 師弟に関する話題で、弟子の特徴を把握し、目標を叶えるための助言や待ちの姿勢など、教育に置き換えて考えさせられる内容でよかったです。
- 舞の海さんの話を聞いて、あまり周囲に縛られすぎずに、自分らしく生きていくことの大切さと、自分の夢や目標は最後まで諦めずに、粘り強く挑み続けることの大切さを学ぶことができました。
- あっという間の時間でした。舞の海さんの語り口調がとても心地よかったです。厳しい世界に入っていく時の覚悟や、国技と向き合う姿勢も伝わってきました。お話を聞き終わったときには、視野が広がる思いと、前向きになる気持ちがありました。次の日の学活で生徒にも語りすることができました。ありがとうございました。

【清水ひろみ 上伊那教育会副会長 お礼の言葉・閉会の挨拶】

本日はご多忙の中、上伊那教育会のためにご講演を賜り、誠にありがとうございました

本日の演題であります「小よく大を制す」という言葉は、私たちにとって馴染み深いものでありますが、舞の海様のご経験に裏打ちされた真摯なお話を伺い、その言葉の持つ重みを改めて深くかみしめております。

現役時代大きな力士を鮮やかな技で翻弄されたお姿は日本中に感動を与えてくださいました。その背景には新弟子検査の際のエピソードに象徴されるような、並ならぬ覚悟と粋にとらわれない柔軟な発想があったことに、改めて感銘を受けました。

現在、教育の現場でも子どもたちが壁にぶつかり、自信を失う場面がございます。本日伺った、自分の特性を理解して、武器に変える創意工夫や逆境をチャンスと捉える前向きな姿勢を私たちは教職員にとっては子どもたちの可能性を引き出す何よりの指針となりました。明日からの教育活動に生かしていきたいと思っております。最後になりますが、舞の海様の今後のますますのご健勝とご多幸を記念いたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

全員合唱「仰望」の演奏で幕を開けた上伊那教育会総研修会。まず、会員発表で、上伊那におけるバツタについて、過去のデータと比較しながら、現在の生息状況を分かりやすく発表して下さった、郷土研究部の小池尚美先生。続いて、忙しい仕事の合間に練習を積み重ね、「新しい世界へ」「ほらね、」の2曲の演奏を通して、歌うことの素晴らしさ、歌うことで人と人がつながっていけることを伝えて下さった、上伊那教育会合唱団の皆さん。また、笑いに包まれる楽しい内容でありながら、前向きな闘志が湧いてくるようなお話をしてく下さった、舞の海秀平さん。ご多用のなかご参集くださり、ご光彩を添えてくださいました、ご来賓の皆様方、地域の皆様方。そして、本会の運営を支えて下さった、教育会 代議員、幹事、常任委員、事務局の皆様、ご参集いただきました全ての皆様に、心より御礼申し上げます。



今年度の上伊那教育会のテーマは「つなぐ つながる 私たちの学び～子どものために、仲間と歩む」です。子ども達一人ひとりにとって、よりよい教育の実現のために、教育会の様々な研修に参加し、語りあい、思いを共有しながら、共に高め合っていきましょう。

最後に、ご参集いただきましたすべての皆様方のますますのご健勝・ご活躍を心よりご祈念申し上げ、公益社団法人上伊那教育会総研修会「仰望の日」午前の部を閉じます。ありがとうございました。